

1・2年「かぞくって いいな」

	書名	著者名	出版社	内容
1	わがままいもうと	ねじめ正一 文 村上康成 絵	教育画劇	「アイスクリームが食べたい。」という病気の妹は、どんどんわがままになって……。お兄ちゃんは妹のために町の東に西に大奮走。妹のわがままぶりもお兄ちゃんのやさしさも、両方いとおいしい「兄弟愛」の絵本。
2	おにいちゃんは世界一	ウルフ・スタルク 作 マティ・レップ 絵 菱木晃子 訳	徳間書店	ぼくはお兄ちゃんが大好き。もっといっぱい遊んでほしいのに、お兄ちゃんはなかなか一緒に遊んでくれない。ある日、やっとお兄ちゃんと遊べることになったんだけど……。お兄ちゃんはどうやって遊んでくれるかな？
3	なみだ ひっこんでろ	岩瀬成子 作 上路ナオ子 絵	岩崎書店	8才のお姉さんはよく泣く。でも、お姉さんは住んでいる町の家々の犬や猫のことをよく知っている。ふじまるさんちのゴローがボールを飲み込んで心配！心配で夜も眠れないお姉さんは、ゴローを見に出かけた。
4	おんぶは こりごり	アンソニー・ブラウン 作 藤本朝巳 訳	平凡社	ピコットさんのおうちは、絵に描いたような幸せそうなおうち。でも、ママは毎日、パパや子ども達の世話で大忙し。ママはうんざりして、とうとう家出してしまう。家族の在り方をユーモラスに問い直す絵本。
5	ミーアキャットの家族	内山晟 写真 江口絵理 文	そうえん社	後ろ足で立ち上がるユーモラスなミーアキャット。アフリカの厳しい大地で生きるため、交代で見張りをし、家族みんなで子どもを育てる。そんなミーアキャットの家族の一日を写真で紹介。
6	あいたくなっちまったよ	きむらゆういち 作 竹内通雅 絵	ポプラ社	おいしそうな子ねずみを見つけたやまねこ。舌なめずりをして、近づくやまねこの前に、よれよれの父ちゃんねずみが現れる。やまねこの気持ちはだんだん変わっていく。どう変わっていくか、お楽しみ。